

## 研究課題：腹膜・胸膜疾患の画像診断について

- 1. 研究の目的：**腹膜・胸膜疾患は、外傷、腫瘍、炎症や先天奇形など様々な病態が含まれます。その診断のため、核医学、造影検査、超音波やCT,MRIが選択されますが、それらがどのように役立つかを明らかにします。
- 2. 研究の意義：**腹膜・胸膜は、臓器を覆う膜構造であり、構造上は膜ではありませんが、分布する範囲、接する臓器は多く、外傷、腫瘍、炎症や先天奇形など様々な病態が起こる可能性があります。その多様性により、症状も様々であり、痛みや腫瘍触知、そのほか腹腔と胸腔の交通や穿孔などが含まれます。画像診断には、核医学、造影検査、超音波やCT,MRIが選択されますが、これらの有用性や解釈をまとめた研究は少ないです。今回、腹膜・胸膜疾患が疑われた患者様に行われた画像検査でどのような所見があったのか、そして、それがどのように役立ったかを検討します。胸膜・腹膜の疾患の診断に役立つ所見がわかることによって、より適切に次検査の計画や治療方針にアドバイスが可能となると考えられます。
- 3. 研究の方法**  
2000年9月から2025年2月までの腹膜・胸膜疾患が疑われた患者様の臨床情報と経過、治療法、画像所見を後方視的に調べます。
- 4. 研究期間**  
2025年3月（倫理委員会で承認を得られた日）から2025年12月まで。
- 5. 研究に用いる資料・情報の種類**  
臨床情報と画像検査、その後の経過に関する事柄（画像、検査所見、治療方法、臨床所見）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。
- 6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表**  
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

## 7. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：放射線科 医長 細川崇洋

実施分担者：副病院長 小熊栄二

放射線科 科長 田波穰

放射線科 医長 佐藤裕美子

## 8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年6月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）